

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第89号 令和5(2023)年5月8日発行



連休明けに子どもが安心して過ごせるように

新年度が始まって1か月が過ぎました。新しい環境に適応しようと頑張ってきた子どもたちも、連休中にほっと一息つくことができたのではないのでしょうか。しかし、連休が明けて生活リズムが崩れてしまったり、今後の学校生活に不安を感じ始めたりしている子どももいるかもしれません。

子どもが安心して過ごせるように、まずは子どもをよくみてサインに気づき、話をよくきいて子どもの思いを受け止めることが大切です。

子どもの思いは…

＜新年度になって＞

- ・新しいクラスで友達をつくらなくちゃ！
- ・勉強に遅れずについていかなくちゃ！
- ・いろいろなことに頑張るぞ！ 等



＜連休が明けて＞

- ・このまま頑張りが続いていく自信がないな…
- ・行事やテストもあって不安だな…
- ・もっと休みたいな… 等



子どものサインに気づき、子どもの思いを受け止めるには

○ よくみる

特に、普段と異なる子どもの様子や行動をよくみましょう。

【授業中のサイン】

- ☐ ぼんやりしている ☐ 居眠りが見られる ☐ 宿題を忘れてくる 等

【友人関係のサイン】

- ☐ 休み時間など一人で過ごすことが多い ☐ 一緒にいる友達が変わった 等

【その他のサイン】

- ☐ 視線を合わせなくなった ☐ 遅刻や欠席が増えた ☐ 保健室の利用が増えた
- ☐ 服装や持ち物が変わった ☐ 休み時間に廊下や他のクラスにいる 等

○ よくきく

まずは、子どもの話を、口を挟まずききましょう。

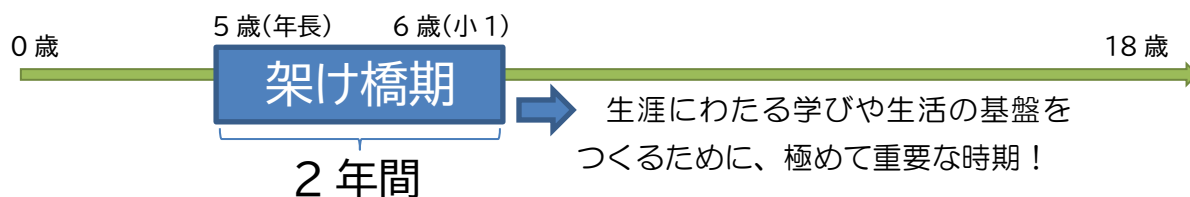
子どもの本音を引き出せるように、丁寧にききましょう。

※子どもに助言をしようとするのではなく、一緒に考える姿勢が大切です。

*総合教育センターでは、子どもや保護者、先生方からの相談を受け付けています。また、各学校での事例検討会に指導主事を派遣しています。学校や家庭で気になる様子などみられましたら、どうぞご利用ください。

【問合せ先】教育相談部（TEL 028-665-7211）

「架け橋プログラム」を知っていますか？



架け橋プログラム



文科省 Web サイトへ

幼児は、自分らしさを発揮しながら遊ぶ中で、様々な力を身に付けてきています。義務教育の始まりにおいて、これまで育んできた力を十分に生かす工夫が重要です。子どもが、「学校って楽しい！」「もっと知りたい！」と思える学校生活や授業の改善・充実に努めていきましょう。



【問合せ先】幼児教育部（Tel 028-665-7215）

センターにおける新たな対応（感染症）

令和2（2020）年4月から令和5（2022）年5月の期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、警戒度レベルに合わせて、「マスクの着用」、「手指の消毒」等の依頼や、「手指消毒用アルコールの設置」、「エントランスホールでの検温」、「室内の常時換気」、「座席間の透明な仕切り板の設置」等の対応をさせていただくことで、来所する皆様の安心・安全の確保に努めてきました。皆様には、これらの依頼や対応に御理解と御協力をいただき、様々な点で御配慮いただけましたこと、誠にありがとうございました。

本年5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へと変更され、基本的対処方針及び業種別ガイドラインは廃止されますが、当センターでは、来所する皆様の安心・安全の確保のため、今後も感染予防・拡大防止に努めていきますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

栃木県総合教育センターを会場とする研修・講座等に参加する皆様へ

- 入口等に消毒液を設置しておりますので御利用願います。
- エントランスホールにおけるサーマルカメラを用いた検温に御協力願います。
- 適切な換気に御協力願います。
- 「マスクの着用」については、個人の主体的な選択を尊重し、各個人の判断に委ねておりますので、御理解願います。

栃木県総合教育センターを利用する団体の代表の皆様へ

手指の消毒と適切な換気に御理解と御協力をお願い申し上げます。

【問合せ先】総務部（Tel 028-665-7200）